

より近く、よりスピーディーに、よりグローバルに





日本エア・リキードは、産業・健康・環境に貢献するガス事業のリーダーとして、1907年から100年以上にわたり、お客様のビジネスをサポートしてまいりました。世界80カ国で事業展開するエア・リキードと連携し、これまで培ってきた技術とノウハウ・専門性をさらに高めます。「今日」のニーズを的確に捉え、「未来」に向けた準備をすることで「お客様の価値向上」により一層つとめてまいります。

産業・医療ガスで「今日」と「未来」をサポートする
日本エア・リキード株式会社 www.jp.airliquide.com



ドライ路面もしっかり走る！

突然の降雪でもあわてない！

同じ季節でも地域によって路面の状況が大きく変わるヨーロッパで信頼される、スタンダードとして愛されているオールシーズンタイヤ。異なる風土と環境で鍛え抜かれた Vector 4Seasons は、専用構造により、ドライ面での剛性感とウェットグリップを両立。路面コンディションに左右されない安心で安定した走りを実現しています。

チェーン規制OK!

オールシーズンタイヤ Vector 4Seasons

ベクター フォー シーズンズ

車種	タイヤサイズ	幅	高さ	径	重量	性能	
17	55 225/55R17 101V XL	15	65	185/65R15 88H	14	70	165/70R14 81T
16	55 215/55R16 98V XL	60	215/55R16 98V XL	205/65R15 94H	185/70R14 88T	185/70R14 88T	185/70R14 88T
60	205/65R16 94V XL	14	65	185/65R14 75T	13	65	155/70R13 75T
215/65R16 98V XL	14	65	185/65R14 75T	13	65	155/70R13 75T	
16	55 215/55R16 98V XL	60	215/55R16 98V XL	205/65R15 94H	185/70R14 88T	185/70R14 88T	185/70R14 88T

王子ホールディングスは三菱化学とセルロースナノファイバーの共同研究を進める

化学

王子ホールディングス

セルロースナノファイバー

製紙業界 事業化に力

競争過熱 設備投資力ギ

PAN系炭素繊維

高強度で軽量

鉄と比べて強度は10倍あり、比重は4分の1と軽い。高強度、軽量を

兼備した材料としてポリアクリロニトリル(PAN)系炭素繊維への注目が高まっている。

もともとPAN系炭素繊維は、大阪工業技術試験所(現産業技術総合研究所(産総研))の研究員だった進藤昭男氏(現産総研名誉リサーチチャイルド)が基本原理を見出したことに始まる。

当初はテニスのラケットやゴルフシャフト、釣りざおといったレジャー用途が中心だったが、用途開発が進み、最近では航空機や圧力容器など、産業用途への適用が本格化している。

さらに自動車向けには、従来の1台数千円もするような超高級車への適用だけではなく、量産車にも本格的な採用が期待されるようになってきた。

現在、PAN系炭素繊維は東レや帝人、三菱レイヨンといった日系メーカーが強い分野で、そのシェアは3社合計で6割から7割になるとも言われる。

2020年には需要が現在の3倍以上となる約14万トへと成長するとい

は、三菱化学とセルロースナノファイバーに関する共同研究を推進し、すでに約4ナグ(ナノは10億分の1)の超極細セルロースナノファイバーを用いた透明連続シートを製造に成功するなどしている。日本製紙は昨

秋、岩国工場でセルロースナノファイバーの実証生産設備の運転を始めた。粘性を高めるために使う増粘剤、包装材料などの用途展開を狙っている。

サンプル提供

大王製紙も昨年末からナノセルロースのサンプル提供を始めた。愛媛県にある三島工場はパルプから製造する一貫生産型製紙工場であるといった特徴を生かし、原料は化学パルプのほか機械パルプや古紙パルプも選択できる。

セルロースナノファイバーは植物繊維由来であり、生産・廃棄に関する環境負荷が小さい。木材・パルプといった自然と親和性の高い製紙業界ならではの取り組みとして、も期待できそうだ。

開始を予定している。同社によると、13年11月に米ボーイングの787型機の組み立て機数が月産10機に到達したことを受け、既存の生産設備はフル稼働を続けているという。

ボーイングが昨年10月に787型機の組み立て機数を現在の月産10機から16年には同12機に引き上げることを決定したところに対応するもので、ブリックレクの安定供給につながる。

石川から初出荷

国内では、石川工場においてモーター機器の筐体や、自動車の外板など産業用途向けブリックレグ生産設備の増強工事を進めている。昨年12月には同工場から787型機用にブリックレグを初出荷するなど、愛媛工場を含めた世界3拠点でブリックレグの供給体制を強化している。

さらに今年2月には、米サウスカロライナ州スパタンバーク郡に約160万平方メートルの事業用地を新たに取得した。同社はこの用地を先端材料事業拠点と位置づけ、経営資源を積極的に投入するとしている。米国においても炭素繊維複合材料ビジネスが担う役割も大きくなりそうだ。

787型機向けブリックレグを東レ石川工場から初出荷

JNCのDNA。



JNC株式会社 <http://www.jnc-corp.co.jp/>
〒100-8105 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル TEL. 03-3243-6760

鹿児島県川内川の曾木の滝。その下流に、JNCのルーツである曾木発電所の遺構があります。創業者 野口達(のぐち)がこの地に起業した明治39年当時は、日本の産業革命ともいわれる時代。そうしたなか野口達(のぐち)は、曾木発電所の余剰電力を使い、石灰岩から窒素肥料を製造。輸入に頼っていた肥料の国産化を実現し、さらに日本で初めて合成アンモニアの工業化に成功、生活資材や化学繊維などの各種化学品の製造販売を続々と開始しました。そんな野口達(のぐち)の、豊かな暮らしに貢献したいという想いと、パイオニア精神にあふれた行動力。私たちJNCには、そのDNAが脈々と受け継がれています。

JNC株式会社 <http://www.jnc-corp.co.jp/>
〒100-8105 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル TEL. 03-3243-6760

ez SDS™
Easy Safety Data Sheet

SDS 作成も、クラウドがスタートです。

「ezSDS」登場 ~安価で簡便な利用を実現~

「ezSDS」は日本ケミカルデータベースと、富士通九州システムズが共同で開発したクラウド型の安全性データシート(SDS)作成支援ツールです。

●SDS原案及びラベル原案を自動作成します。
●混合物としてのGHS分類を自動類推します。
●クラウド型である為、インターネット接続環境があれば、どこからでも利用することができます。
●化学品に関わる29 法規制を搭載しています。

JCDB 日本ケミカルデータベース株式会社 ■営業部 TEL.03-3239-5901 E-mail: jcdb-sales@jcdb.co.jp
URL <http://www.jcdb.co.jp>